

市民意識調査概要

- ◇調査対象：市内に居住する 18 歳以上の市民
- ◇調査期間：令和5年2月 10 日～ 24 日
- ◇抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出法
- ◇調査対象者数：2,000人
- ◇調査方法：郵送、インターネット
- ◇回答数(率)：1,110件 (55.5%)



『市政への信頼度』 前年より向上！

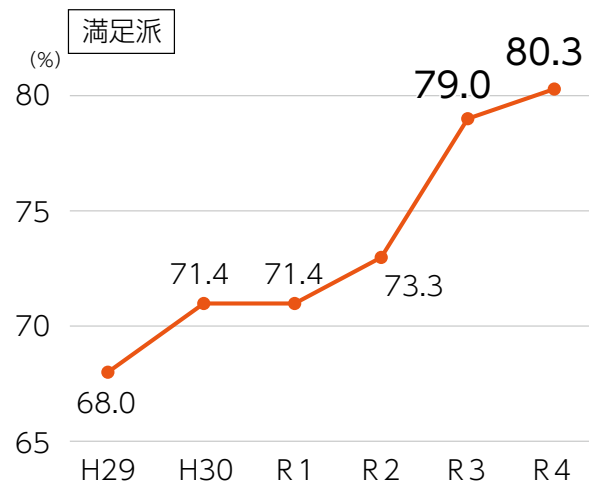
「肯定派」が **74.2%**

「信頼できる」「どちらかといえば信頼できる」と回答した人の割合が、前年から2.3ポイント上昇し、74.2%になりました。引き続き市民サービスの向上を図るとともに、市政に対する信頼度向上に努めます。

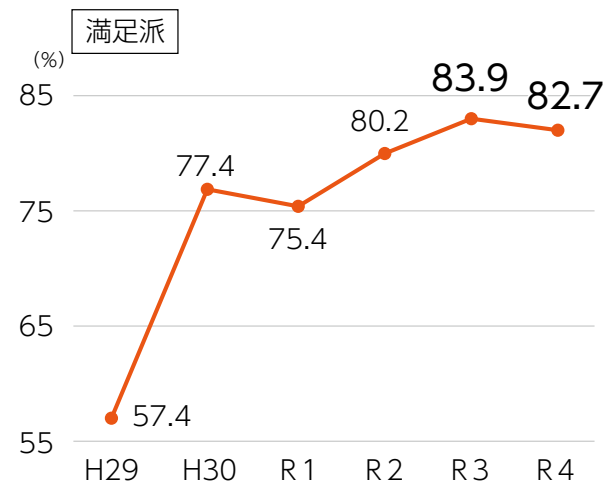
市では広く市民の皆さんの意見や思いなどを今後の市政運営に反映させるために、定期的に意識調査を実施しています。結果は政策を進めていく上での指標として、まちづくりに反映させていきます。多くの皆さんから貴重なご意見をいただきありがとうございます。

令和4年度 まちづくり市民意識調査結果をお知らせします

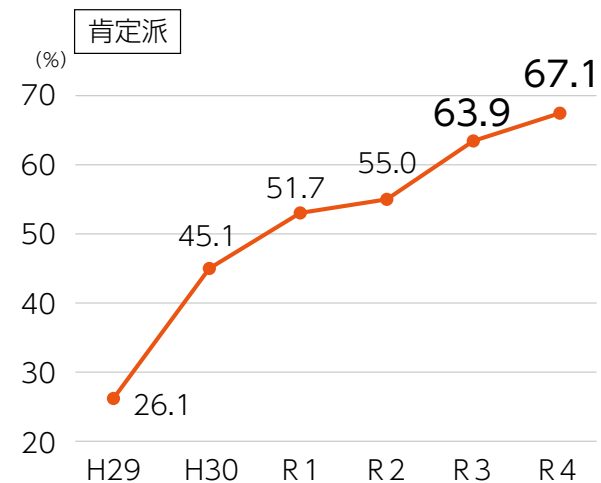
本市の住みやすさ



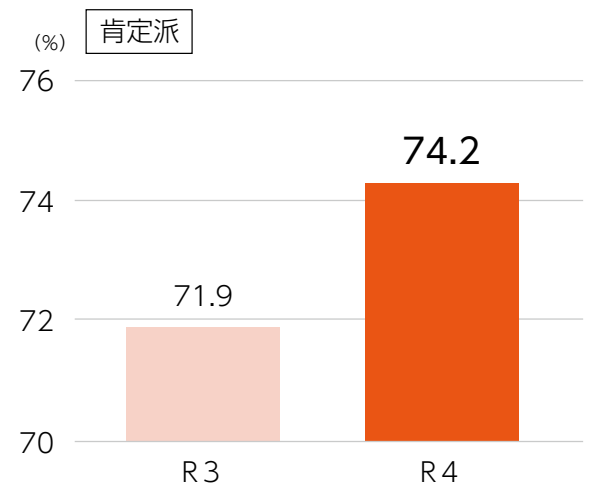
市職員の対応・姿勢に対する満足度



効果的な行政運営に対する評価



市政への信頼度 (令和3年度から追加設問)



「効果的な行政運営に対する評価」「住みやすさ」は「肯定派」「満足派」が増加傾向にあり、

「市職員の対応・姿勢に対する満足度」は高水準で横ばいとなっています。

意見	市政への反映
高齢者への支援の充実をお願いしたいです。	高齢者が日常生活を送る中で役立つサービスや情報をまとめた冊子「令和の都だざいふ高齢者支援のためのガイドブック」を本年6月に作成しました。地域包括支援センターや社会福祉協議会で配布し、市ホームページにも掲載しています。
土産、特産品の開発をしてほしいです。	「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト推進事業」を令和3年度から実施し、これまで22品、昨年度は6品の梅を使用した製品を発表しました。官学連携により梅の実の成分分析調査も行い、太宰府の梅のブランド価値向上を図っています。
観光資源を有効活用して欲しいです。	史跡地利用促進・アフターコロナの観光客の史跡回遊のため、国指定史跡地内施設の老朽化した設備(トイレ・木橋)を改修し、ベンチ40基を設置しました。また、史跡地の魅力を高めるため、大宰府跡と水城跡で、昨年の秋冬にフードトラックによる社会実証実験を行いました。
歴史や史跡をもっと利用して、市内ウォークラリーを行ってみたい。	昨年10月に日本遺産「西の都」ふれあいウォークを開催し、市も実行委員会として参画しました。日本遺産構成文化財などを歩いて巡るコースを設定し、2千人を超える参加者に歴史や文化、美しい自然を感じてもらいました。

意見	市政への反映
子ども寮、子ども食堂を設置してほしいです。	現在、市内で8団体が子ども食堂を運営しています。これまで市では補助金や冷蔵庫設置などでサポートしてきました。本年度は「子どもの居場所づくり事業」を開始します。
中学校が給食になると嬉しい。	令和6年1月から全員喫食での「中学校完全給食」を実施予定です。市内の民間調理場で調理し、生徒が食器に注ぎ分ける食缶方式での導入を進めています。
税金や水道料金のキャッシュレス化を考えてほしいです。	現在、スマートフォン決済アプリによる市税や水道料金などの納付を導入しています。本年4月からは固定資産税と軽自動車税の納付にも、地方税統一QRコードを利用したキャッシュレス決済を開始しました。
だざいふ得とく商品券がキャッシュレスだったので不満に思っています。	令和4年度からは、本市独自で「だざいふ紙ラク商品券」事業を行い、紙の商品券を発行しています。本年度も実施予定です。

皆さんの意見を市政に反映しました

令和4年2月に実施した「令和3年度まちづくり市民意識調査」では、まちづくりについての意見などを自由に記入してもらった項目を設けていました。市政に反映された事例の一部を紹介いたします。